

3 小学校高学年の指導例（2）

- ◆ **主題名** 大切なふるさと **指導内容** C [伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度]
資料名 雪丸の町 (王寺町郷土資料⑥ 王寺町教育委員会)

◆ **ねらい**

町のマスコット「雪丸」をつくり、雪丸ロードを作ったり町の観光・広報大使として活動させたりしている王寺町の取組から、町の発展を願う人々の努力について理解し、郷土を愛し、郷土の伝統と文化を大切にしようとする態度を育てる。

◆ **展開のあらまし**

○主な発問 ・予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
<p>○ 今も機関車を大切に保存したり、町章に鉄道の車輪を表したりしているのは、どんな考えからだと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県で初めての鉄道が開通したことなどへの誇りをもち続けよう。 ・鉄道の便がよく駅前や鉄道関係の仕事などを中心に発展してきた町だから、鉄道をシンボルにしよう。 	<p>◆ 王寺町の歴史について、資料中の記述やこれまでに学習したことを基に話し合い、町の発展に大きく寄与した鉄道を、町のシンボルとして大切にしてきた王寺町の人々の心情に共感できるようにする。</p>	
<p>○ ユキコにとって、雪丸の顔が前よりしっかりした顔に見えてきたのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいいとしか思っていなかった雪丸が、町のために働いていることを知ったから。 ・町のイベント以外にも、他の町まで行って王寺町のことを知らせているから。 	<p>◆ 観光・広報大使としての雪丸の活動を押さえ、マスコットとしての雪丸のイメージを自由に出し合うなど、ユキコにとって雪丸がそれまでのイメージとギャップがあったことに気付くようにする。</p>	風景の拡大図
<p>◎ ゆるキャラの雪丸をつくることにした町の人たちは、どんな願いを雪丸にこめたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王寺町のよさを多くの人に知らせて、町に來たり住んだりしてもらいたい。 ・お店に來る人や鉄道を利用する人を増やすために、王寺町のいろいろなお店や名物、伝統などを伝えたい。 ・多くの人に王寺町を好きになってほしい。 ・王寺町をこれからももっと発展させたい。 	<p>◆ 雪丸ロードを作ったり町の観光・広報大使として活動させたりしている王寺町の取組から、町の発展を願う人々の努力について理解できるようにする。</p> <p>◆ ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</p>	ワークシート
<p>○ あなたは、王寺町のどんなことを多くの人に知らせたいと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達磨寺や雪丸像など、聖徳太子にまつわる伝説が多く残されていて、和の鐘など聖徳太子の教えを大切にしていること。 ・船戸神社や火幡神社、畠田古墳などの文化財が多くあること。 ・明神山や冒険の森などの観光スポット。 	<p>◆ それぞれが感じたり気付いたりしてきた町のよさについて話し合い、郷土を愛し、自分たちもまた郷土の伝統と文化を大切にしていこうとする態度を育てるようにする。</p>	

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行うなど、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。